

会 議 開 催 結 果

1 会議の名称	第2回砥部町社会教育委員会
2 開催日時	令和6年3月27日（水）19時から
3 開催場所	砥部町中央公民館 2階 会議室1
4 審議等事項	協議事項 （1）社会教育事業における課題について ・社会教育係事業 「コミュニティ・スクール（地域学校協働活動）推進事業」 ・文化スポーツ係事業「スポーツ・レクリエーション大会」 ・公民館係事業「千里地区公民館夏祭り」 ・ひろた交流センター事業「カレーの日」 （2）その他 ・砥部四国について
5 出席者名	【委員】太田由美子・前田眞・曾我部功一郎・垂水晴香・ 敷村一元・山下吉信・堀江直美・三浦健太郎・ 廣瀬美和子・野村りえ （10名全員出席） 【教育長】大江 章吾 【事務局】山本 勝彦（社会教育課長） 藤岡 毅（社会教育課長補佐） 瀬川 徹（社会教育係長） 山本 雄輝（文化スポーツ係長） 松下 寛志（公民館長） 町田 忠彦（ひろた交流センター長）
6 公開又は非公開の別	公開
7 非公開の別	—
8 傍聴人数	0人
9 所管課	砥部町教育委員会 社会教育課 電話 962-5952

第2回砥部町社会教育委員会会議録（要旨）

発言者	発言内容
事務局	開会宣言
会長	会長あいさつ
事務局	これからの議事の進行は、砥部町社会教育委員会議規則第2条第3項により、「会長は、会議を主宰する。」と規定されていますので、太田会長にお願いします。
議長	「社会教育事業における課題について」を議題とします。まず、社会教育係事業について事務局より説明をお願いします。
事務局	【社会教育事業における課題について】 （社会教育係事業） 資料を基に説明
議長	ただいまの事務局の説明について、ご意見・ご質問等ありますか。
委員	砥部防災ネットワークという団体があり、昨年、麻生小学校から社会福祉協議会の方に話があり、防災教育に協力した。評判も良かったため、この事業に組み入れたら良いという話が出ていたが、この事業に合うイメージですか。
事務局	まさしくこの事業に合致する取組だと思います。麻生小学校では、4年生で防災マップを作成しているみたいで、地域の防災士の方に御協力いただくことを計画されてたりするので、そういった防災の目線からの事業も十分考えられると思います。
委員	コミュニティ・スクールを展開していく上で重要なのは、学校側のニーズと地域側のニーズが合っていることです。先程の防災の話で言うと、防災について学んだ子ども達が、地域の防災力の担い手になったりする。このような双方向の考え方を持つことが大事だと思います。
議長	地域学校協働活動推進員の人数の制限はないのでしょうか。
事務局	麻生小学校では今のところ1人としていますが、学校によっては複数人となる可能性はあります。

委員	推進員は常駐するとか、普段どこかにいる場所があるのですか。
事務局	麻生小学校の推進員の方は、普段お仕事されてる方になりますので、常駐ということではなく、必要な時に学校に出向いて仕事をしていただくようにしています。なっていただく方の状況に応じて運用していきたいと考えています。
委員	子ども達がこういう事を学びたいとか、子どもの意見を聞いたりすると良いかと思います。
委員	推進員に資格はいりますか。
事務局	いません。
議長	とべ焼博士事業を1年間実施してみて、想定していた事と違っていたことはありましたか。
事務局	体験学習を10名程度で募集をしたところ、応募があったのが10名で抽選になることもなく、あと、検定試験も小学3年生から中学3年生で定員なしで募集しましたが、応募があったのが体験学習に参加している6人だけで、非常に人数が少なかったというところが挙げられます。その辺を来年度どのように、もっとPRして事業を活性化していくのかが、課題だと感じています。
委員	この体験学習は継続して参加することができますか。検定試験は2級の実施ですか。合格した後の活用方法はありますか。
事務局	体験学習は3年事業としているため、引き続いて参加していただけます。検定試験に関しましては、来年度は2級の他に1級と博士の実施を予定しています。合格後の活用方法は、今後検討していくことになります。
議長	以上でご意見はないようですので、社会教育係事業については終わります。 続いて文化スポーツ係事業について議題とします。事務局より説明をお願いします。
事務局	(文化スポーツ係事業) 資料を基に説明

議長	ただいまの事務局の説明について、ご意見・ご質問等ありますか。
委員	確かに参加者数は減ってきています。特に昔はほとんどの地区で参加していた軟式野球大会やソフトボール大会はかなり減っています。スポーツ協会で運営しており、対策として出身地の人に参加できるように「地域枠」というのを導入したりしています。他にも、今まで女性しか出れなかったレクバレー大会を、男性も参加できるように混合の部を作ったりもしました。
委員	競技をまたいで参加する人はいますか。
委員	ほとんどの人がそうです。地域の親睦を兼ねて出ています。
事務局	もちろんスポーツそのものにも価値がありますが、そこに付随する地域活動に、非常に意味があると考えています。大会自体をこれだけでできているのはすごいと感じており、継続して、できればもっと盛り上げていければと考えています。
委員	参加する年齢層はどんな感じでしょうか。
委員	年齢層は現役世代が多いです。人が少ない地域は、60・70 になっても出ている地区もあります。色んな世代の交流にもなっています。
委員	私も結構参加していますが、女性の参加が少ないように感じます。女性の意見を聞いてみるのも良いかもしれません。練習がなくても参加できる、例えば先程説明のあったニュースポーツなんかを取り入れてくれると参加しやすいという声は実際に PTA からあがっています。
事務局	スポーツ協会さんには専門部がありまして、専門性が高いスポーツをそちらのほうで担ってもらっています。教育委員会が運営しているものが、より一般的で特に年齢層を意識していきまして、例えば、6 月には高齢者を意識して「クロッケー大会」を実施していますし、3 月には児童向けに「ウォークラリー大会」などを実施しています。先程ご意見もいただきましたが、練習とかがなくて、割と皆さんがフラットな状態で進めれる、ニュースポーツなんかを地域に十分普及ができれば、大会も開催できると考えています。
委員	地域の付き合いを苦手と感じている人が多くなっているのも難しいところになってきています。

委員	競技数を減らして、誰でも集まってこれるような小運動会みたいなものを実施してみると以外と参加してもらえのかもしれない。こどもの城でも親子で参加できるような体力測定を実施しており、結構参加してもらっています。種目の見直しということであれば、思い切ってこういうことをやってみるのも必要かもしれません。
委員	交流を図る大会と、専門性を図る大会のメリハリを付けるのもありかなと思います。コミュニティ・スクールの観点から、地域のニーズとして、交流を図る大会に児童生徒を応援団として参加してもらうのもありだと思います。
議長	以上でご意見はないようですので、文化スポーツ係事業については終わります。 続いて公民館係事業について議題とします。事務局より説明をお願いします。
事務局	(公民館係事業) 資料を基に説明
議長	ただいまの事務局の説明について、ご意見・ご質問等ありますか。
委員	私も出身者として参加できていませんが、地域の事情として、高齢化が進んでおり、千里口には夫婦が1組しかいないとかで、役員をするのも難しいとなっている中で、地元で運営していくというのが厳しくなってきています。
事務局	昔はPTAの役員さんが、食べ物を調理したりしていたんですが、それらはもうできないというご意見がありました。なので、調理はなしにして、調理されているもの買うとかで負担を減らせれるようにと考えています。
委員	PTAといっても今は2家庭のみになるため、地元の人だけとなると厳しいため、例えば砥部小校区の人も含めるとか、範囲を広げてやってみてはどうでしょうか。
事務局	お盆に帰省してきた人と地元の人が一夜を過ごすというのが目的の祭りになるので、範囲を広げて賑やかにやるというのは、地域としては満足できないのではないかと思います。

委員	広田地区はどんな感じでやっていますか。
事務局	今年度は元気ひろたの会が、ひろた交流センターを使って歌謡祭を企画してくれました。地域外の人々の来場もあり、200・300 人は来ていただきました。
委員	やる気のある人がやってくれたということですね。出身地の若い人がやってくれたら良いですけど。
委員	帰省してくる人ということであれば、ある程度人数が想定できると思いますが。
委員	帰省してくる人たちへのサービスとなると、地元の負担感は強くなります。帰ってきた人たちが担い手になる仕組み（里帰りチームなど）ができると良いと思います。 災害の面から言うと、この地区は孤立地区になる可能性があることを踏まえて、地域食堂みたいな形でこのお祭りを実施してみると、他で地域食堂をやっている人に協力を得られるかもしれないし、再び興す理由を地域で共有できたら、エネルギーが湧くかもしれません。
議長	以上でご意見はないようですので、公民館係事業については終わります。 続いてひろた交流センター事業について議題とします。事務局より説明をお願いします。
事務局	(ひろた交流センター事業) 資料を基に説明
議長	ただいまの事務局の説明について、ご意見・ご質問等ありますか。
委員	移動支援という話になると、社会教育の分野を超えて、普段からの移動をどう支えるか考える必要があると思います。デイサービスのイメージから支援を得るとか、デマンドタクシーの仕組みを取るとかを町として考えていく必要があると思います。
事務局	他の事業では、職員総出で送迎を行っていたりするものもあるため、できるところから取り組んでいきたいと考えています。

議長	以上でご意見はないようですので、協議事項（１）の「社会教育事業における課題について」は以上とします。 続いて、協議事項（２）の「その他」ですが、本日の会の全体を通して、協議事項がありましたらお願いいたします。
議長	前回開催時に協議が途中になっていた、「砥部四国」について再度協議をしたいと思います。「砥部四国」については中止ということだったかと思いますが、その後別の形で実施するとか検討をされていますか。
事務局	「砥部四国」については「ふるさと探訪」という形で名前を変えて実施していましたが、令和２年度に中止となりました。令和３年度からは「ふるさと探訪」と「陶街道 53 次」を合わせて「ふるさと再発見紀行」として実施することになり、３年度はコロナで実施できませんでしたが、４年度・５年度に実施をしました。巡る対象を文化財や「陶街道 53 次」としていましたが、来年度はコースを１つ増やして、「砥部四国」の札所を入れることを計画しています。
議長	その他意見等ございませんか。特にないようですので協議を終了いたします。それでは事務局へ進行を戻します。
教育長	教育長あいさつ
事務局	以上を持ちまして、第２回砥部町社会教育委員会を終了いたします。 お疲れ様でした。